

令和7年度 第3回 「淡路島観光戦略会議」議事要旨

日時 : 令和8年3月6日(金) 15:00~16:00

場所 : 洲本市健康福祉館3階会議室

出席者 : 淡路県民局長、洲本市副市長、南あわじ市長
淡路市長、淡路島観光協会会長

議題(1) 令和7年度 淡路島総合観光戦略アクションプランの
進捗状況について

(2) 令和8年度 淡路島総合観光戦略アクションプランに
かかる主要な取組(案)

(3) その他

議題(1) 令和7年度 淡路島総合観光戦略アクションプランの
進捗状況について

事務局から資料1、2について一括して説明

① 島たま Go!について

【構成員】

- ・ この事業は淡路島に来た方の島内周遊の流れが可視化できると
思うので、様々な戦略的なことができるのではないかと思う。今
後の予定を教えてほしい。

【事務局】

- ・ 4月から引き続き実施する。今後さらにユーザー数が増えるこ
とで、お客さんの流れを分析して、有効に活用していきたい。

② 本物体験プランについて

【構成員】

- ・ お客様からの需要はどれくらいか。

【事務局】

- ・ 「収穫・自然体験×食事」については、ちりめんモンスター探しのプランで10件ほど。これ以外にあるプランで特に人気なのが、夏場の海ホテルショーで、昨年上半期で2,500人の予約実績がある。

【構成員】

- ・ 継続が大切かと思うので、引き続きやっていただきたい。

③ インバウンド宿泊者について

【構成員】

- ・ 当社グループのホテルのことであるが、首都圏からのお客様が全体の8%に、インバウンドについては、あるホテルでは全体の10%近くを占めるようになっており、首都圏・インバウンドともに伸びてきている実感がある。

【構成員】

- ・ そのインバウンド比率が高いホテルは淡路島のホテルか。

【構成員】

- ・ 淡路島のホテルである。韓国・香港を中心に最近では台湾が伸びてきている。

④ 商談会について

【構成員】

- ・ 行政と観光協会中心で参加しているが、より具体的な商談に繋がられるように、今後は事業者（宿泊施設・観光施設）にもっと参加してもらいたい。

⑤ 神戸空港国際化に向けた受入整備について

【構成員】

- ・ 国際定期便が就航する2030年には200万人近い国際旅客が見込まれる中、神戸市内の宿泊施設だけではキャパシティ的に足りないため、淡路島を含めた他地域に来てもらうために、神戸空港発着バスの増便の要望をしていただきたい。また、各市で進めている高速バス停の整備など淡路島の受入体制を整えていく必要がある。神戸港のスーパーヨットハブも2027年春に完成するので、淡路島の港で受入できる体制整備も必要。

【構成員】

- ・ 宿泊施設のキャパシティの件はもう少し整理をして、神戸市側に提案してはどうか。こういう理由で淡路島に来てもらう必要があり、そのために神戸空港発着バスの増便が必要であるというストーリー。

⑥ 総合観光戦略について

【構成員】

- ・ アクションプランについては、毎年修正されていると思うが、基本戦略はどのタイミングで見直しされるのか、また検証機関はあるのか。

【事務局】

- ・ 今の観光戦略はコロナが収束するタイミングで、その当時は首都圏誘客を中心に、その先にインバウンド誘客という整理であった。それからインバウンド誘客の流れが加速的になったので、観光戦略会議の場で、インバウンドにも対応した事業をしていく方向になった。

また、昨年開催された淡路島観光会議の場で 2030 年に向けた方向性がある程度定まったので、次の総合観光戦略はその方向性を踏まえ、議論した上で策定していきたい。それまでに検証も進めていきたいと考えている。

⑦ 住民理解について

【構成員】

- ・ 観光事業が住民の方々の生活や満足度の向上に繋がるということを知れば、より観光事業が進めやすいと思う。観光に対する住民理解度を上げるアピールが必要。

【構成員】

- ・ 南あわじ市では、「観光と 1 次産業の融合」と言い続けている関係で、観光に一定の理解があると感じている。観光が発展することで、飲食を通じて 1 次産業のブランド化が進み、付加価値が高くなるというストーリー。淡路島全体としてそういう構造になっていることを周知することで住民理解が進むと思う。

議題（２）令和８年度 淡路島総合観光戦略アクションプランにか かかる主要な取組（案）

事務局から資料 3、4 について説明

① 瀬戸内エリアとの連携による芸術・文化を活かした周遊促進につ いて

【構成員】

- ・ 瀬戸内エリアとの連携について、2028 年を想定時期とすると、そろそろ考えていかないといけない。

【事務局】

- ・ 来年度の子算要求の時期までにはある程度のかたちを作っていかなければならいので、それまでに関係者が集まってイメージを固めていきたい。

【構成員】

- ・ 今あるコンテンツを活用したスモールパッケージにするか等、コンセプトや連携までの段取りを今後考えていただければと思う。

【構成員】

- ・ 令和 8 年度の第 1 回観光戦略会議にて、今後のタイムスケジュール等をお示しさせていただければと思う。

② ワールドマスターズゲームズについて

【構成員】

- ・ 来年の 5 月にワールドマスターズゲームズが淡路島で開催されるので、海外から来た方に淡路島のコンテンツを体験してもらうことを検討してはかがかかと思う。

【構成員】

- ・ 南あわじ市でも検討する。多ければ 2,000 人近く来る想定。

【構成員】

- ・ 事務局から各市とどのような連携ができるか調整させていただく。

③ 移動手段の確保について

【構成員】

- ・ 県内でも豊岡で空飛ぶクルマの運航プロジェクトが進んでいる。淡路地域も実用化に向けた取組を進めていく必要がある。

④ 食の魅力をコンテンツとした取組について

【構成員】

- ・ 食の魅力を PR することは大きなコンテンツであると思う。島内全域の 1 次産業・製品の PR というかたちでやっていけたらと思う。

(その他全体を通して)

【構成員】

- ・ 今日頂いた意見を踏まえ、事業を進めていただければと思う。

以上